

社会福祉法人一廣会かないばら苑 人材育成指針

当法人のケアの理念“その人らしい暮らしの実現”は施設ケアにとどまらず、地域包括ケア、地域共生社会の実現の基礎となる理念です。かないばら苑は、その理念を掲げて、地域に根差し地域共生社会を推進する事業所運営を行います。

そのために「2つの柱」に基づく人材育成に取り組みます。一つは、専門能力を高め、自ら成長し続ける職員となるための支援、特に、新人育成の充実を図ります。二つ目は、長く安心して働けるライフデザインを描ける職場として、キャリアパス支援、働きやすい環境づくりに力を入れ人材を育成します。

《人材育成の2つの柱》

1 専門能力を高めつつ、自ら成長し続ける「職員」

～「まなび a i かないばら」スキルアップ研修～

- (1) 福祉の現場で働く職員としての基礎づくり
- (2) コミュニケーションスキル取得の支援
- (3) 指導スキル取得の支援
- (4) 地域支援を視野に入れた実践力
- (5) チーム力（組織力）の向上に貢献する

2 ライフデザインを描ける「職場」

～キャリアパス支援～

- (1) キャリアに応じた待遇
- (2) ジョブローテーションで個人の特性を活かしたキャリア形成
- (3) 正職員登用制度
- (4) 資格取得支援制度
- (5) 地域共生社会推進～幅広い視野形成

～働きやすい環境づくり～

- (1) 自己申告制度
- (2) 両立応援配置転換
- (3) 福祉機器の積極的導入
- (4) メンタルヘルスサポート
- (5) ワークライフバランスの支援
- (6) ダイバーシティ推進～多様な人材の活躍をめざして

《めざす職員像》

1 自ら考え行動する職員

将来を見通すことが困難な現代社会・経済状況の中においては、困難で変化する福祉課題は増加し、対応する支援方法は、より多様化、複雑化していきます。各職員は、自らのキャリアデザインをしっかりと描きながら、高い専門能力と幅広い知識を有する福祉分野の職員として、地域福祉ニーズに敏感であり、日々の小さな改善から制度施策まで、それぞれの立場で考えて解決策を導いていくことが求められます。「自ら考え行動する職員」をめざします。

2 麻生区区民とともに地域づくりを担う職員

職員一人一人が、安心して暮らせる地域づくりの担い手としての自覚を持ち、麻生区民に信頼され責任感をもって行動することをめざします。

3 お互いを認め合い、助け合い、励まし合う職員

一人一人が、大切にされ安心して働ける職場を目指し、職員は、多様な価値観を認め共感する力・困っている人を見過ごさず人助けを喜びとする力・お互いを励ましあう共に生きる力を養います。

《人材育成体系図》

職員はそれぞれのキャリア目標と法人の人材育成指針と融合させてキャリアデザインを描きます。キャリアデザインを実現するために、かないばら苑は《人材育成の2つの柱》に基づいた「まなび ai かないばら」スキルアップ研修とキャリアパス支援・働きやすい環境づくりを展開します。

2019（平成 31）年 4 月 1 日改訂